



明けましておめでとうございます。  
今年甲午（きのえうま）年です。  
昨年度より、お寺と皆様の距離が少しでも近づければと思います、このお便りを発行させて頂いております。  
その思いを秘め、駿馬の如く、この一年も駆け抜けたと思います。  
どうぞ、本年も神宮寺を宜しくお願い致します。合掌

## 正月と一月

良啓

正月とは本来、その年の豊穰（ほうじょう）を司る歳神様（としがみさま）をお迎えする行事であり、一月の別名です。（としがみさま）  
現在は、一月一日から一月三日までを三が日、一月十五日（もしくは七日）までを松の内と呼び、この期間を「正月」といっています。

## 初詣

新年になり、神社仏閣へ初詣に行く方も多いと思います。元々は、「年籠り（としこもり）」と言って、家長が祈願の為に、大晦日の夜から元旦の朝にかけて氏神様の御社に籠る習慣でした。それが、大晦日夜の「除夜詣」と元旦朝の「元旦詣」に分かれ、元旦詣が現在の初詣の原型になりました。

初詣の場所は、神社仏閣のどちらでも構いません。明治以前は、神仏習合と言って神社仏閣が一体化しており、どちらかにお参りすると言うより、どちらにもお参りする事が一般的だったためです。また、期間も特に決まりは無く、年明け初めに行く参拝が初詣となります。ですから、何月でも構わないのですが、大体、正月三が日の間を初詣と呼んでいます。大切な事は、ご自分のお住いに近い所へお参り頂き、今年一年の祈願を行い、この年をスタートする事です。もう、初詣はお済ですか。まだでしたら、是非とも神宮寺へお参り下さい。

## 弘法大師のことば

裕俊

ちこ　　みがた　　わ　　こころさい　　くう　　へん  
近うして見難きは我が心、細にして空に遍ずるは我が仏なり、  
わ　　ほとけ　　しぎ　　がた　　わ　　こころ　　こう　　まただい  
我が仏は思議し難し、我が心は広にして亦大なり。

十住心論卷九（定二・二七五）秘藏宝論卷下（定三・一六一）

近くにもありながらも、その実態を掴みにくいのが私たちの心です。とても目で見える事は出来ませんが、私たちの心の中には仏様がいらっしやいます。

本来、人は生まれながらにして仏なのです。しかし、日常の中でその事を自覚するのは簡単ではありません。感じてみましょう。小さく見えるかもしれませんが、心はとても広く大きいのです。

## 今月のお茶「ほうじ茶」奈緒子

前回、京都独特の「京番茶」をご紹介させて頂きました。今回のほうじ茶は全国的に一般家庭で飲まれている番茶です。

番茶とは煎茶などを焙じたもので、そこから「ほうじ茶」と呼ばれるようです。

沖縄ではあまり飲まれていない印象ですが、カフェインが少なく万人に合うお茶です。食事と一緒に飲まれることも多いです。

緑茶よりも体を冷やす作用が少ない為、冬向きお茶でもあります。

※福岡産有機栽培ほうじ茶をご提供。

こちらで紹介したお茶は毎月、「神宮寺学ぶ会」にて提供させて頂いております。

### ❀ 1月の神宮寺 ❀

1月8日 19時～ 神宮寺学ぶ会・・・  
新年会（要予約）

### ❀ 来月の神宮寺 ❀

2月6日 19時～ 神宮寺学ぶ会・・・写経  
（どなたでもご参加いただけます）